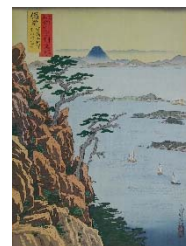


瀬戸内国際芸術祭 2022 参加 秋の特別展



# 風景が物語る瀬戸内の力

## —自然・歴史・人の共鳴—



知らなかった瀬戸内海が今ここに。初めて見つける瀬戸内のすがた。

この秋、瀬戸内国際芸術祭 2022 参加展覧会として、瀬戸内海がメインテーマの展覧会「風景が物語る瀬戸内の力—自然・歴史・人の共鳴—」を開催します。

瀬戸内海は、日本最大の内海として、本州、四国、九州にある 11 府県の沿岸によって囲まれ、その海岸線の距離は 7,230 km\* (香川—ハワイの直線距離に相当) にも及び、内海に浮かぶ島々は 700 以上あります。古くから瀬戸内には、多島海の豊かな自然に、人々が積み重ねた歴史や暮らしが溶け込み、自然景と人文景が共鳴した風景が広がります。

本展は関西、中四国の 30 件以上の所蔵者のご協力を得て、厳選された約 100 点の絵画だけに絞った展覧会です。〈ユートピア〉〈自然〉〈生活〉〈名所〉〈近現代そして未来〉の 5 つのテーマをもとに、中世から現代までの、各地の瀬戸内海の姿を表わした作品が一堂に会し、歴史、民俗、美術、自然など、これまでにない多面的な視点から瀬戸内海の魅力をひも解きます。

\*出典「瀬戸内海の概況」(環境省 せとうちネット [https://www.env.go.jp/water/heisa/heisa\\_net/setouchiNet/setsu/g2/g2cat01/index.html](https://www.env.go.jp/water/heisa/heisa_net/setouchiNet/setsu/g2/g2cat01/index.html))

会 期： 9月23日(金・祝)～11月6日(日)

前期：9/23(金・祝)～10/10(月・祝) 後期：10/12(水)～11/6(日)

会 場： 香川県立ミュージアム 2階特別展示室、常設展示室4・5

開館時間： 9：00～17：00 夜間開館：会期中の土曜日は～20:00

\*入館は閉館の30分前まで

休 館 日： 月曜日(10/10(月・祝)は開館、10/11(火)は休館)

観 覧 料： 一般 1,200 円 前売・団体 (20名以上) 1,000 円

※瀬戸内国際芸術祭パスポート提示で団体料金(9/29～11/6)

※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は観覧料無料

**前売り券 1,000 円 8月24日(水) 発売** 香川県立ミュージアム 1階総合案内にて

主 催：香川県立ミュージアム

共 催：香川県教育委員会

協 力：NHK 高松放送局

後 援：朝日新聞高松総局、産経新聞社、山陽新聞社、四国新聞社、日本経済新聞社高松支局、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、OHK 岡山放送、RSK 山陽放送、KSB 瀬戸内海放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、FM 香川、FM815

助 成：独立行政法人日本芸術文化振興会

## 特別展関連イベント

### 1. 講演会

◎無料・要事前申込 定員 100 名 (先着順) 会場 地下 1 階講堂

#### 「大地の成り立ちからみた瀬戸内の風景」

瀬戸内海は低い陸地に海が入ってできた天然の生け簀です。大地の成り立ちから、瀬戸内海の独特な風景の成り立ちを見直してみませんか？

日 時：10月2日(日) 13:30~15:00

講 師：長谷川修一氏(香川大学特任教授・名誉教授)

申込期間：9月2日(金)～、定員になり次第終了

#### 「くらしが紡ぐ瀬戸内の風景」

自然と人との関わりを示す作品を道しるべとしながら、「瀬戸内らしさ」とはいったいどういった点にあるのか、探ります。

日 時：10月23日(日) 13:30~15:00

講 師：上杉和央氏(京都府立大学准教授)

申込期間：9月23日(金・祝)～、定員になり次第終了

### 2. 学芸講座

◎無料・要事前申込 定員 100 名 (先着順) 会場 地下 1 階講堂

#### 「瀬戸内を旅する」

古くから交通の要衝として多くの船が通った瀬戸内海。江戸時代の日記を用いて、当時の瀬戸内海を旅した様子を紹介します。

日 時：9月25日(日) 13:30~15:00 講 師：川邊優佑(当館学芸員)

申込期間：8月25日(木)～、定員になり次第終了

#### 「画家たちが眺めた瀬戸内海」

明治44年(1911)に画家たちが小豆島に遊んだ旅をまとめた旅行記「十人写生旅行」をひも解き、近代に描かれた瀬戸内の絵画とその魅力を紹介します。

日 時：10月15日(土) 13:30~15:00 講 師：窪美西嘉子(当館主任専門学芸員)

申込期間：9月15日(木)～、定員になり次第終了

#### 「讃岐十景と讃岐百景」

「讃岐十景」や「讃岐百景」など、昭和前半期の香川県における風景認識と観光化について紹介します。

日 時：10月30日(日) 13:30~15:00 講 師：田井静明(瀬戸内海歴史民俗資料館専門職員)

申込期間：9月30日(金)～、定員になり次第終了

### 3. ナイトトーク 当館学芸員が「瀬戸内の力」の魅力をご紹介します。

◎要観覧券 会場 特別展示室、常設展示室 4・5

日 時：特別展会期中の毎週土曜日 18:30～ 40分程度

### 4. ワークショップ

#### 「瀬戸内ロックバルンシング」 ◎有料・当日受付

瀬戸内を形成するいろんな種類の石をバランスよく積み上げてみよう！

日 時：10月8日(土)、9日(日)、10日(月・祝) 10:00~12:00、13:00~16:00 のいつでも

会 場：2階西ロビー

参加料：100円

#### 「屋島は物語る」 ◎有料・要事前申込

自然の景色や地形、歴史や人の営みについて解説を聞きながら、特別展で紹介する瀬戸内の風景を、実際に見て歩きます。

日 時：10月22日(土) 9:00~12:00

対 象：高校生以上

集合場所：屋島山上駐車場(現地集合・現地解散)

コ ー ス：屋島山上駐車場→談古嶺→屋島北嶺(遊鶴亭)→やしまーる

講 師：長谷川修一氏(香川大学特任教授・名誉教授)

参加料：500円 \*車でお越しの場合、別途駐車料金が必要

定 員：20名(1組3名まで、申し込みが多い場合は抽選)

申込期間：9月23日(金・祝)～10月7日(金) 必着

## 特別展関連企画

### 「風景が物語る瀬戸内の力」とあわせて楽しむ・知る “瀬戸内”

常設展示室 1

#### 瀬戸内泰平—「博物図譜」にみる山野海のめぐみ

9月23日(金・祝)～11月6日(日)

近世博物図譜の精華「高松松平家博物図譜」(香川県指定有形文化財)のうち、昨今、生物学的な調査研究が進められてきた「衆鱗図」(魚類の図)と「衆芳画譜」(植物の図)を展示します。瀬戸内の自然の中にも目にすることができたであろう魚類や植物の豊かなすがたを紹介します。

常設展示室 2

#### 瀬戸内の風物—島・港・くらし

9月23日(金・祝)～11月6日(日)

香川県出身の紙版画家 いのうえかずお 井上員男(1932～)の作品から瀬戸内の風物を紹介します。井上は昭和49年(1974)から52年まで、各地を取材し、「四国の漁港より」や「瀬戸内シリーズ」といった瀬戸内海の港や瀬戸内の風物を版画で表しました。瀬戸内の湿気や優しい波音を伝え、どこか懐かしく安らぎを覚える瀬戸内の姿をお楽しみください。

## 報道向け内覧会を開催します

日 時:9月22日(木)14:00～16:00

会 場:香川県立ミュージアム 2階 特別展示室、常設展示室4・5

参加者:報道関係者

※取材をご希望の場合は、当日会場にお越しください。

※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、本展覧会では開会式等はいりません。

### お問い合わせ

香川県立ミュージアム 学芸課

〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

Tel.087(822)0247 Fax.087(822)0049



E-mail: [kmuseum@pref.kagawa.lg.jp](mailto:kmuseum@pref.kagawa.lg.jp)

Web: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/>

ツイッター・フェイスブック・YouTube でも情報発信中

ツイッター @kagawamuseum

フェイスブック <https://www.facebook.com/香川県立ミュージアム-1041229016064742/>

